

区民犠牲の新空港線は中止、 民主的議会改革へ共同を！

日本共産党

大田区議団
ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14
TEL 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447
E-mail
kugidan@jcp-ota.jp
ご意見、ご要望をお
寄せ下さい。

議会の民主的運営に向け、
世論と運動を広げます

議会役職を自・
公がほぼ独占

5月26・27日の大田
区議会第一回臨時議会が
開かれ、副議長、常任・
特別委員会の正・副委
員長の互選が行われま
した。

結果は依然として、
議会役職20ポストのう
ち自民・公明党だけで
15ポスト（75%）を占
めます（左表参照）。

会派名	2022年5月27日現在		
	議席数	委員長	副委員長
共産	8	0(2)	2(2)
自民	15	6(4)	3(3)
公明	10	3(3)	3(2)
令和	6	1(1)	2(2)
立民	3	0(0)	0(1)

現在の配分（議席数に応じた配分）

令和大田区議団 犬伏・三沢（維新）・
松原元・須藤・植田・荒木議員

区民の声が反
映される議会
運営を

5月26・27日の大田
区議会第一回臨時議会が
開かれ、副議長、常任・
特別委員会の正・副委
員長の互選が行われま
した。

党区議団（8名）は
じめ立憲民主（3名）・
フェア民（奈須議員）・
フォーラム（荻野議員）
の4会派13名で、区議
会の民主的な運営に関
わる要望書を提出し改
善を求める中で、党区
議団から2名の副委員
長が選出されました。

今、コロナ禍で日本
全体が窮地にたたされ
ています。
このような時だから
こそすべての会派が英
知を出し合い、区民の
くらし・営業を守るこ
とが求められています。
党区議団は、区民に
選ばれた区議会が、区
民の声を反映させ、議
会の民主的な運営のた
めに、議席数に応じた
役職配分となるよう、
共同を広げます。

本会議の質疑・
討論に時間制
導入

本会議の質疑・討論
について、「全議員の
発言機会の保障と、能
率的かつ公平な議会運
営を実現するため」と
して、これまで無かつ
た時間制限を設ける議
論がされて、5月19日
の議会運営委員会採
択され、第一回臨時会
から時間制が導入され
ました。
党区議団をはじめ4
会派13名は、言論の府
の議会において、一人
一人の議員の発言は最
大限保障されることこ

それが重要であり、時間
制は導入しないことを
求め反対しました。
議会の民主的運営に
向け区民のみなさんや
他会派とも協力し、世
論と運動を広げます。

18歳以下医療費無償化
党区議団の繰返し提案で実現

党区議団は第二回定例会で「子ども医療
費無料化は、現在、区は15歳まで所得制限
も自己負担もなしになるよう都に上乗せを
して行っています。それと同じように、18
歳まで子ども医療費の無料化を早期に実施
することを求めます」との質問に、松原区
長は「実施主体となる特別区の区長会と財
政支援を行う東京都との間で調整を行って
いるところです」と答弁していました。

しかし、本会議最終日松原区長より、
「特別区長会として2023年度から所得
制限なし、自己負担なしで実施する方向で
まとまり、必要な財源の負担等については
東京都と引き続き協議を行うことといたし
ました。区は早期実現に向けて着実に進め
てまいります」と発言がありました。

党区議団は、乳幼児医療費無償化から子
ども医療費の無償化の18歳以下までの年齢
引き上げなど、繰返し条例提案を行ってき
ました。党区議団の提案に自民・公明等は
「バラマキ」などと発言し、反対してきま
した。

時間制導入の内容

・質疑は5分以内とする。
なお、答弁は含まない。
・討論は一人当たり5分
とし、会派の人数を乗じ
た時間とする。ただし、
30分を限度とする。



杉山こういち

健康福祉委員

羽田空港対策特別委員



あらお大介

こども文教委員

オリンピック・パラリンピック推進特別委員



すがや郁恵

総務財政委員

防災安全対策特別委員



黒沼良光

まちづくり環境委員

防災安全対策特別委員



福井りょうじ

こども文教委員会副委員長

羽田空港対策特別委員



大竹辰治

総務財政委員

交通臨海部活性化特別委員会副委員長



佐藤 伸

地域産業委員

交通臨海部活性化特別委員



清水菊美

健康福祉委員

オリンピック・パラリンピック推進特別委員

区政とくらしの
相談はお気軽に

TEL 3730-3480 TEL 3757-9881 TEL 3768-5844 TEL 3735-6467 TEL 5754-3028 TEL 3735-2611 TEL 3298-6362 TEL 3766-2630

多額の区税投入で区民犠牲押付ける 新空港線(蒲蒲線)は白紙撤回を！

6月6日松原区長は、新空港線整備事業について緊急に記者会見を行い、都区で協議をしてきた事業総額三分の一の地方負担となる都区負担割合について、都区が合意したことを発表しました。

総事業費は1360億円となり、三分の一、453億円の地方負担額を明確にしています。

区説明の「区民の利便性向上」にはなりません

区は「区民の利便性向上」と「沿線まちづくりの整備」となると説明していますが、今回の計画は京急蒲田駅までの第1期事業計画で、第2期事業計画の京急蒲田駅から羽田空港への連絡は未定です。

区は「区民の利便性向上」と「沿線まちづくりの整備」となると説明していますが、今回の計画は京急蒲田駅までの第1期事業計画で、第2期事業計画の京急蒲田駅から羽田空港への連絡は未定です。

区は「区民の利便性向上」と「沿線まちづくりの整備」となると説明していますが、今回の計画は京急蒲田駅までの第1期事業計画で、第2期事業計画の京急蒲田駅から羽田空港への連絡は未定です。

区は「区民の利便性向上」と「沿線まちづくりの整備」となると説明していますが、今回の計画は京急蒲田駅までの第1期事業計画で、第2期事業計画の京急蒲田駅から羽田空港への連絡は未定です。

・今回の計画は京急蒲田駅までの第1期事業計画で、第2期事業計画の京急蒲田駅から羽田空港への連絡は未定です。

・多摩川線蒲田駅は地下化され、JR蒲田駅への乗り換え時間が大田区の想定では、現在の3分58秒から5分20秒になり1分22秒多くなり、多摩川線利用者は不便になります。

・新空港線は東横線等との相互乗り入れを想定し、8〜10両編成となります。

成となります。現在、多摩川線は3両編成で、駅の改良をしない限り停車することは困難です。

この点について大田区は「営業主（東急電鉄を想定）が考えること」と述べるにとどまり、多摩川線の各駅は素通りの可能性がります。

多額の区税投入は他の施策の削減となり区民犠牲となります

新空港線整備は350億円を超える区財政投入となります。

区は、区の財政負担については、都区の合意文書で「特別区都市計画交付金制度の対象事業とするよう、東京都と大田区が調整を行う」としている中で、財政負担は大幅に圧縮できると説明していますが、その保証はありません。また、総事業費の圧縮に努めるとしていますが、まちづくり関連費用等が加算されるのが予想され、見直しもありません。

さらに、この間大田区の財政削減計画（事業）

・下丸子の踏切解消では、新空港線の整備と共に行うと答弁していますが、新空港線の整備期間となる13年以上も整備が遅れることとなります。区民の利便性向上と沿線まちづくり整備にはならず、区民に役に立ちません。

（限務事業見直し）で「限られた経営資源を区民が真に必要とする施策に再配分していきます」と述べ、今年度だけでも313項目6億円余を削減しています（下図参照）。

すでに新空港線の積立基金は90億円となり、不足分は他の施策の削減で捻出するしかなく、くらしや福祉の切り捨てにつながり区民犠牲となりがねません。

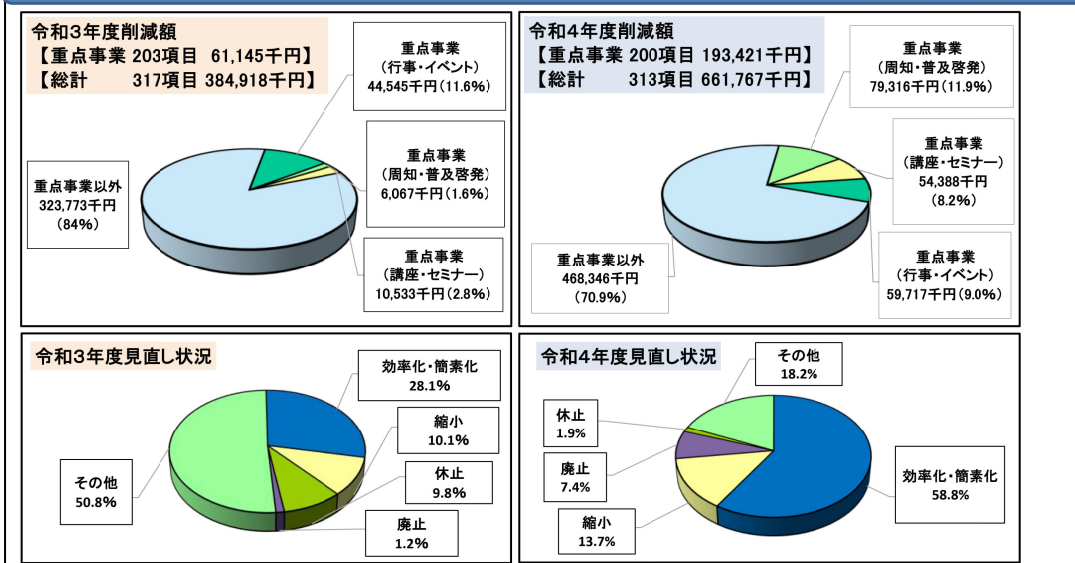


世論と運動を広げ白紙撤回のために全力を尽くします

日本共産党区議団は、選挙まで合わせて4回の定例会で徹底究明するとともに、区長・区議会議員選挙で最大の争点に押し上げ、区民の皆さんと世論と運動を広げ、白紙撤回のため全力を尽くします。

今後、第二回定例会をはじめ、来年4月に行われる区長・区議会

II 事務事業の見直しによる効果



総務財政委員会資料より